



第1回 空間デザイン・コンペティション「サステイナブルな新時代のガラス空間」

硝子の浮島 - 再生ガラス浮き玉を利用した波力発電 -

ガラスの浮き玉を集めて小さな島をつくります。

ガラスの浮き玉は定置網や漁船などの係留に使う伝統的な漁具として、再生ガラスを原材料に職人が一つ一つ吹いて制作していました。しかしながら現在はプラスチック製のブイに取って変わりを消しつつあります。

そこでガラス浮き玉の美しさを保ちながら、人の生活と新たな海との関係をもった親水空間が作れないかと考えました。酸化チタン光触媒加工された浮き玉を波力発電の浮きとして用いて、小さな島をつくります。今まで目印でしかなかった浮き玉は、光触媒によって水を浄化し、波力によって上下に揺られ発電します。また島は波に揺られながら形状を変化させ、その島を訪れる人々はガラスの浮き玉によって波の上立つことができます。

新しいガラスの浮き玉により、かつての文化や伝統を持続継承すると同時に、漁業・工業・観光をつなぐ未来の新たな風景を創出します。

PROPOSAL | 街と海、漁業 × 工業 × 観光サイクルの生み出す再生可能エネルギー

- ・波力発電による再生可能エネルギー
- ・都市部から出る瓶等のゴミを利用したガラス再生及び、伝統ガラス漁具産業の組み合わせによる維持・持続
- ・光触媒ガラスを利用した赤潮の浄化、海の水質向上



PLAN&SECTION | ガラスの浮き島で波を歩く

漁業従業者（1次産業） 漁業従業者（1次産業） × ガラス生産業者（2次） × 観光客（3次） 6次産業コミュニティと風景を創出ガラスの浮き玉

